



12月はどんな感じに過ごしましたか。私は日本語の年賀状にチャレンジし、英語のクリスマスカードもたくさん海外に送ることで郵便局の皆さんに大変お世話になりました。そして、ふるさと子ども体験隊と一緒に国際交流クリスマス会を思いっきり楽しみました。若者宿に集まり、19名の子どもたちと、島後からの国際交流員3人で、楽しい遊びやおいしい昼食などでいい時間を過ごしました。

- 1. クラフト** まずは切り紙を切って作る雪の結晶を紹介し、皆さんに挑戦してもらいました。出来るだけ綺麗に作ろうと、子どもたちも交流員さんたちも、真剣な顔で作業をしていました。
- 2. プレゼンテーション** 交流員さんたちに、それぞれのクリスマスの習慣の話をお聞かせしてもらいました。例えばイギリス版クリスマスケーキはクリスマス「プリン」と呼ばれているとか。同じ英語圏でも料理の名前や習慣が違い、アメリカ生まれの私も勉強になりました。
- 3. ゲーム** リンボーダンスのゲームでは、クリスマスの音楽が流され、子どもたちは笑いながらぐったり倒れたり、会場が笑い声に包まれました。
- 4. お昼ご飯** お昼ご飯に、交流員が子どもたちと同じテーブルで一緒に座り、アニメについて熱く話し合っていた子どももいました。ボランティアの皆さんの作ったご馳走は、クリスマスで飾ったカップケーキなど味も見た目も良く、おいしく頂きました。
- 5. プレゼント交換** 子ども同士でプレゼント交換をし、その後は交流員一人の姿が不思議と消え、イケメンのサンタさんが登場しました。皆さんと遊んだり、サンタにちょっとしたクリスマスプレゼントを貰ったり、とても楽しかったです。

このように、参加していただいた皆さんのおかげで素晴らしいクリスマス会になりました。西ノ島町の皆さん、今年もよろしくお願いたします！



☆ふるさと子ども体験隊☆



<11月>竹スキーを作ろう!

中央公民館では11月に、児童・保護者・ボランティア計19名で、口村光房さんの指導のもと、竹スキー作りをしました。子ども達は、普段使い慣れないカンナや切り出しナイフに苦戦しながら、一生懸命に竹を削っていました。

出来上がった竹スキーに乗って、板の上を何度も滑ったり、草の上で引張ってもらったりして遊びました。また、口村さんが余った竹で手作りの弓矢も作って下さいました。子ども達は、矢を遠くまで飛ばす競争をして楽しんでいました。



ふるさと子ども体験隊では、小学生を対象に自然や食文化などをテーマに、ふるさとの良さを体験できるような活動を計画しています。ぜひ子ども達と一緒に参加してください！おじいちゃん、おばあちゃんの参加もお待ちしております。 教育課

Happy New Year!



西ノ島町観光協会



直近のイベント 隠岐の4島を回って隠岐の良さを再発見しましょう!

行 事 名	日 時	場 所
牛突き大会初場所大会	1月11日(日)	隠岐の島町(隠岐モーモードーム)
今津のとんど	1月15日(木)	隠岐の島町(今津地区)
ほんのてんらんかい③	1月26日(月)~2月1日(日)	西ノ島町(別府港第2ターミナル2F)

西ノ島カレンダー 絶賛発売中!!

Nishinoshima Tourism Association 2015 CALENDAR

西ノ島カレンダー2015



月別の写真は全て西ノ島在住の方や観光客が撮った西ノ島の風景です。

お土産に、ご家庭用に、宣伝用に是非お買い求め下さい!

販売窓口

- ★観光協会(別府港)
- ★役場窓口(浦郷、別府)
- ★さくらや
- ★だるまや

※観光協会から郵送もできます。

西ノ島町観光協会 Nishinoshima Tourism Association TEL 08514-7-8888

壁掛けタイプ
1000円

FD A (フジドリームエアラインズ) チャーター便の2泊3日のツアーが来島しました。今年は新しいツアー設定で約1500名のお客さんが、いわて花巻・山形・富士山静岡・松本・名古屋小牧・福岡等の各空港から隠岐空港に到着、その後、隠岐4島を巡りました。西ノ島では西ノ島ふるさと案内人とバス観光を楽しみ、毎回良い天気恵まれ、国賀海岸の絶景を満喫しました。ガイドさんも「良いお客さんばかりで、一緒に秋の国賀を楽しめました」と喜んでいました。今の旅のスタイルはきれいな景色を見るだけじゃなくて、その地域の歴史文化を学び、その地域に住んでいる人(バスガイド、ホテルのスタッフ等)と交流することが人気になっています。今年も豪華客船やチャーター便の団体ツアーを計画しています。お客さんに西ノ島のおもてなしを体感してもらいたいことはとてもいい事です。みなさん、宜しくお願ひします!

団体客の特別ツアーがありました!



西ノ島ふしぎ発見 38

~糸魚川ジオパーク協議会の鳥越さんと「観光 VS ジオパーク」について話をしました~

- ニコラ** 隠岐では世界ジオパークに認定されたから、たくさんの観光客が来ると思っている人が多いですが。。。
- 鳥越** 糸魚川もそうでした! もちろん世界ジオパークに認定されることはとても良いですが、まだ世界でも日本でもそんなに知られていません。もっとたくさんの人に世界ジオパークを広めていくことが大事ですね。
- ニコラ** そうですね。世界遺産は1007ヶ所ありますが、世界ジオパークは111ヶ所しかありません。これからですね!
- 鳥越** はい、期待しています。ジオパークの取組の目的の1つは地域を元気にすることです。地域にあるものを教育、保全保護、観光等に活かし、地域を活性化することが重要です。
- ニコラ** たくさんの人に隠岐を体感してもらいたいですね。何かアドバイスはありますか?
- 鳥越** お客さんに出す観光メニューというのは料理みたいなものです。良い素材を探して、調理する腕を挙げれば良い物ができます。そこにジオパークの考え方を入れると、地球や自然や文化などに結び付けることができます。そうすれば、お客さんの知識や創造力は広がり、その観光メニューにより興味を持つようになるでしょう。
- ニコラ** なるほど! ジオパークは今あるものをさらに発展させる、スパイスみたいなものですね!